

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

会報 *KSTNET*

第26号 2006年8月30日発行



会長からのメッセージ

熊本県言語聴覚士会 会長 小薙真知子

年々、真夏日が増え地球の温暖化が気になりますが、皆様の夏はいかがだったでしょうか。本年度も半ばを迎えようとしています。医療、介護保険改定から半年を過ぎ、これからいろいろな問題点も明らかになっていくものと思われます。

熊本県言語聴覚士会では、8月20日、済生会熊本病院研修ホールで新人研修会を行いました。約50名の参加があり、保険点数改定、高次脳機能とSTのコミュニケーション、訪問リハビリテーション、小児のサポート体制など、短い時間ではありましたが、これからSTの領域として課題となっている部分を提示しました。それぞれにSTの領域の広さを感じ、これからの臨床に活かせるヒントになったのではないかと思います。

当面の私たちの組織の課題として、会員一人ひとりにも自分達のこととして理解しておいて頂きたいのが、ST協会の法人化の案件です。社団法人とは、『一つの団体としての目的、組織とそれ自体の意思をもち、その団体自身が社会上單一体としての存在をもつもの』と定義され、民法によって法人格が与えられるものです。言語聴覚士が社会で認知され、会員の総意を実現していくために、協会が団体として人格権を持つことは、欠くことのできない条件です。とくに、新人の方は加入手続きを早めに済ませてください。

日々の業務に追われていると、日本のST協会が法人化されることの必要性を切実には感じることが

発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27
熊本託麻台病院(事務局)
TEL 096-381-5111(内線228)
FAX 096-381-5115
E-mail:takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111
メディカル・カレッジ青照館
TEL 0964-54-2211
FAX 0964-54-2213
E-mail:yamaguchi@seishoukan.ac.jp

責任者：山口 信

ないかもしれません。ところが、身近なところで法人でないことの無力さを感じることがありました。秋から実施される特定高齢者の介護予防事業において言語聴覚士の「口腔ケア・嚥下障害」への参与が切望されています。私は会の代表として説明会を聴講に行きましたが、当会は法人ではないので団体として認められず介護予防事業を申請することはできませんでした。現時点では、各STの所属する施設で介護予防事業が行われる場合には、口腔ケアの領域でSTとしての専門知識を生かせる指導ができるることを積極的にアピールしていただきたいと思います。ご不明な点は、理事か、ブロック長、あるいは会長までお問い合わせください。

この秋も学会、研修会と日々の業務に加えて、週末も多彩な行事が控えています。9月9日の平澤哲哉先生、10月7日は小嶋知幸先生と全国の第一線でご活躍の言語聴覚士の方々にご講演いただき、また、親しくお話ができる機会を設けています。ぜひ、多くの会員の方々が今後のエネルギーとなる刺激を得られることを願っています。



新人研修会にて小薙真知子会長

平成18年度 新人研修会報告



平成18年度 新人研修会に参加して
熊本リハビリテーション病院
言語聴覚士 新 玉緒

今回済生会病院で行われたH18年度新人研修会に参加させて頂きましたが、新人の私にとっては非常に興味深い講演ばかりで、とても充実した時間を過ごす事ができたように思います。



熊本労災病院折口直美先生 「診療報酬関係について」

今回4人の先生方による講演は、今後STにとって非常に重要な、理解しておくべき内容ばかりであったように思います。日頃日常業務においてよく理解できていなかった診療報酬改訂について再確認する事ができたり、今後是非関わってみたいと思っていた小児関連の話では、少子化が進む中、熊本の発達障害児の数は多く、それにも関わらず受け入れ可能な病院が少ない事、対応できるSTが少ない事など熊本の小児の現状を知ることができました。訪問リハビリテーションについては高齢化社会が進む中、今後必要性は更に増していくであろうと改めて感じ、これからどの病院においても取り組んでいく必要があ

ると思いました。高次脳機能に関する事、コミュニケーションのスキルアップについてはSTにとって必要不可欠な事、知識や技術を高めておかなければならぬ事であり、今回改めて自分自身のコミュニケーションの取り組み方を見直す事ができ、今後患者様とのコミュニケーションに生かしていきたいと思いました。



朝日野総合病院原口昭博先生 「訪問STについて」

最後に今回の勉強会では非常に多くの事を学ぶことができたように思います。今後自分でも更に知識を深め、技術を身に付け、臨床の場に役立てていきたいと思いました。また他病院のSTの方達とこのような形で交流を深める事ができ、情報交換の場にもなったように思います。次回の新人研修会にも参加し、自分自身のスキルアップを目指したいと思います。



熊本市こども発達相談室下田祐輝先生 「子どもに関わる言語聴覚士の役割」

ブロックだより

北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本

東部ブロック
菊池・阿蘇

中部ブロック
龜本

南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣

西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

北部地区では、10月7日土曜日より午後2時より、以下の特別講演を開催いたします。今回は、地区を超えて、参加の御案内をしております。多数の御参加よろしくお願ひいたします。小嶋先生は執筆活動ももちろんですが、高次脳機能研究等の査読委員等、幅広い活動をされています。様々な臨床上の悩み、学問的な相談等、この機会にぜひ質問してみませんか？なお講演会後には、懇親会も予定していますので、こちらも御参加のほどよろしくお願ひいたします。

場所 菊南病院 5階多目的ホール
開催時間 午後2時から5時まで
講演内容 失語症のメカニズムと訓練
演者 小嶋知幸先生
参加費 会員1500円 学生1000円
円 他会員2500円

連絡先 熊本言語聴覚士会 北部地区 大塚裕一（菊南病院 096-344-1711）



[東部ブロック報告]

勉強会のおしらせ

日時：9月29日（金）19:00～20:30

場所：くまもと成仁病院 4階研修室

内容：「訪問リハにおけるSTの役割」

くまもと成仁病院 花生健志 ST

「自主訓練により書字能力が改善した流暢性失語の症例」（仮）

西合志病院 村上文香 ST

東部ブロック以外の方で参加希望の方は山本までご連絡ください。

熊本リハビリテーション病院 山本由佳



[中部ブロック報告]

<中部ブロック開催のお知らせ>

風が涼しくなり、秋が近くなってきました。

中部ブロックでは9月に定例会を開催いたします。

日時：平成18年9月29日（金）19:00～

場所：熊本託麻台病院

内容：『研究発表の仕方について』 熊本託麻台病院 中村雅己先生

新人さんをはじめ、研究発表をしたことある方にもない方にも役立つ内容ですので、皆様ぜひふるってご参加下さい。

熊本第一病院 前田紗知



[南部ブロック報告]

虫の声が聞こえる季節となりましたが皆様お変わりございませんか。

さて、南部ブロックは8月19日（土）に球磨郡公立多良木病院にて勉強会を開催いたしました。キーワードは『NST』でした。講師に同病院の田中医師にNSTの基本からSTの役割並びにチーム医療、地域との連携について大変熱心に講演をして頂きました。すごく感動する内容でした。その他同病院の蓑田STによるNSTと摂食・嚥下チームについて活動内容の報告がありました。

人吉・球磨地区では新設（人吉総合病院、サンライフみのり、リバーサイド御薬園）や増員（小林脳神経外科医院）もあり本年度は昨年の会員数の2倍8名となりました。次回の勉強会の予定は11月に八代市医師会病院で症例検討が行われる予定です。皆さんふるってご参加下さい。

南部ブロック長 折口 直美



[西部ブロック報告]

西部ブロックでは7月27日（木）に第2回研究会を行いました。

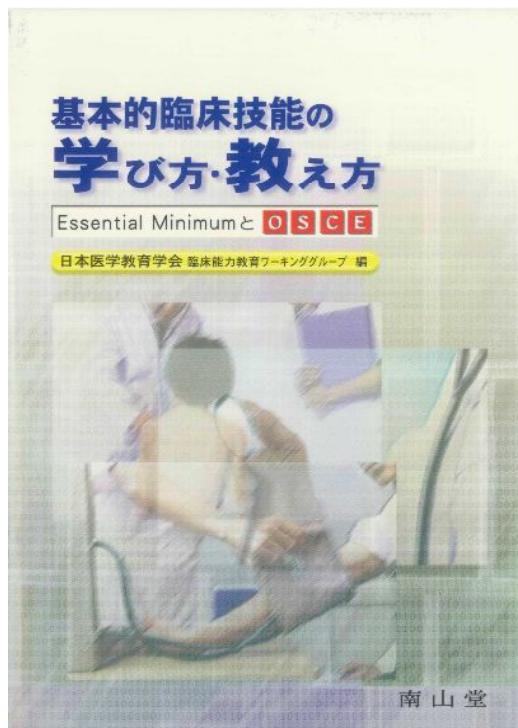
発表者は青照館の新人松本里佳先生、演題は現在先生が八代保健所で行っている発達相談での最近の傾向でした。

こどもサポートNETの尽力などで近年一般病院でも小児の臨床を行うところが増えています。参考になりそうな題材のときは他ブロックにも積極的に出かけていこうと思っていますので、他ブロックからも早めの情報提供をお願いします。

次回は9月29日（金）、場所はニュ一天草病院、発表者は山口で、「若年者の社会性障害・コミュニケーション障害について」です。



[基本的臨床技能の学び方・教え方]



日本医学教育学会臨床能力教育ワーキンググループ編・南山堂・2002年

近年若者のコミュニケーション能力についてマスコミなどで取りざたされることが多くなってきました。また、ドクハラに象徴されるような医療人のコミュニケーション能力についても問題が表面化してきています。

現在ではほとんどの医学部が基本的臨床技能や客観的臨床評価(OSCE)を取り入れており、ST教育においても「演習」という形で行われていた試みを体系化したものにしようとする学校が増えていくようです。

STはその業務の性質上、本来高いコミュニケーション能力が必要とされます。しかし、「リハビーム」のゆえか、はたまたそのような若者そのものが増加しているのか、社会性

やコミュニケーション能力に「？」のつく学生が養成校に少なからず入学してくるように思います。

現在はマニュアル時代ですので、マニュアルさえ覚えてしまえば自分を一見「好青年」に見せることは可能です。こうした学生を短時間の面接試験ではじくのは難しいことです。また、「STになりたい」という志を持った学生を「向いていない(のではないか)」というこちら側の主観で排除しても良いのかという倫理的な問題も残ります。

したがって、志を持って入学してくる以上は、われわれは先輩STとしてそのような学生を適切に導き、STとして業務を開始する時までには、必要な社会性とコミュニケーション能力を身につけさせなければなりません。

それは学生にもわれわれにもかなりの努力を強いるストレスフルな作業です。しかし、この努力無しには次代の言語聴覚療法・摂食嚥下療法を担う、安心して後を託せる後輩STは育ってきません。

この本は、こうした努力をしているSTにとって、基本的臨床技能やOSCEの入門書として適當なものだと思います。

もともと医学部学生と医師向けにかかれたものでそのままSTにはあてはまらない部分も多いですが、「STならばこの項目はこうできるのではないか」という問題意識をもって読むと大変参考になる本です。

養成校の教員はもちろん、学生を受け入れていただいているバイザーや、自分自身の患者様とのコミュニケーションに問題意識のある新人など、全てのSTに読んでいただきたい本です。

(メディカル・カレッジ青照館 山口 信)

全国協会にも加盟しましょう！

県士会の上部組織である日本言語聴覚士協会にも加盟しましょう。

自動的に割安の傷害保険に加入できるのが利点です。

<http://www.jaslht.gr.jp/>が協会HPです。



7. 8月は県士会に依頼された求人はありません。経験者の求人をご希望の施設がありましたら、広報部までお知らせ下さい。



前号 KSTNET 発行から開催された理事会はありません。次回は10月開催の予定です。



[日本ディケア学会第 11 回年次大会]

[日時] 平成 18 年 9 月 21 日 (木) - 23 日 (土)
[場所] 熊本県立劇場
[問合せ・連絡] 〒862-0950 熊本市水前寺 6-43-7
くませいビル
熊本県精神科病院協会内 日本ディケア学会第 11
回大会事務局
TEL : 096-385-7848 Fax : 096-385-7868
<http://www.ics-inc.co.jp/daycare11/>

[熊本県言語聴覚士会北部ブロック地区主催 特別講演会]

[日時] 平成 18 年 10 月 7 日 (土)
午後 2 時 - 午後 5 時 (午後 1 時 30 分受付開始)
[会場] 菊南病院 5 階多目的ホール
(熊本市鶴羽田町 685 TEL 096-344-1711)
[参加費] 熊本県言語聴覚士会会員 1500 円
学生 1000 円 その他 2500 円
[講演演題] 「失語症のメカニズムと訓練法」
[講師] 小嶋知幸先生
プロフィール
1958 年生まれ、医学博士、言語聴覚士
1980 年 埼玉大学教養学部卒
1999 年 東京大学医学部、学位取得
1989 年 江戸川病院リハビリテーション科勤務
2005 年 独立、地域の臨床、講演、教育等、幅広
く活躍中
著書 ABR ハンドブック (金原出版)
中枢性聴覚障害の基礎と臨床 (金原出版)
高次脳機能障害の臨床はここまで変わった (医学
書院)
失語症のメカニズムと訓練法 (新興医学出版)
言語聴覚士のためのそうだったのか英文抄読 (新
興医学出版)
[申込締切] 平成 18 年 9 月 30 日 (土)
※尚、当日は講演会後、小嶋先生との懇親会を予
定いたしております。
(懇親会費 : 3500 円)
[問合せ・申込] 菊南病院言語聴覚療法科
TEL 096-344-1711 Fax 096-344-1726

[第 7 回熊本「失語症のつどい」]

[日時] 平成 18 年 10 月 22 日 (日)
午後 2 時 ~ 4 時
[場所] やつしろハーモニーホール
〒866-0854 熊本県八代市新町 4 番 1 号
TEL : 0965-53-0033 *駐車場/228 台収容可能
[内容]
① 現状及び活動報告
「失語症者、笑顔を取り戻す！」
折口直美 (熊本労災病院 言語聴覚士)
深澤 寛 (話そう会 会長)
② ミニコンサート
「ハーモニカ演奏」演奏 久保義昭氏
③ 集団ゲーム
④ 展示・販売物
* 失語症者の作品展示
* 言語障害及び言語聴覚士に関するパンフレッ
ト配布
* 失語症教材・参考図書及び訓練機器の展示・販
売

[主催] 熊本県失語症友の会連合会

[共催] 熊本県言語聴覚士会

[連絡先] 第 7 回熊本失語症のつどい実行委員会事
務局

独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院リ
ハビリテーション科言語聴覚療法室
〒866-8533 熊本県八代市竹原町 1670
TEL : 0965-33-4151 Fax : 0965-32-4405

[日本言語聴覚士会生涯学習基礎講座研修会]

[日時] 平成 18 年 10 月 28 日 (土) 14:00-17:00 (受
付 13:30-)
※ 終了時間については若干変更させて頂く場合も
あります。

[場所] ビーコンプラザ 1F 国際会議室
別府市山の手町 12-1 TEL : 0977-26-7111

[内容]

1. 基礎講座 「言語聴覚療法の動向」
日本言語聴覚士協会 地方組織委員会長
(高木病院勤務) 久保健彦先生
2. 基礎講座
「臨床マネジメントと職業倫理」
熊本県言語聴覚士会 会長
(熊本機能病院勤務) 小薗真知子先生

[対象] 言語聴覚士

[参加費] 1 講座 500 円 ※ 2 講座受講された場合
1,000 円

[定員] 180 名 (定員になり次第、締切りとさせて
頂きます。)

※ 定員に達し参加困難となった場合、ご連絡致し
ます。

[申込方法] 平成18年8月31日までにFAXにてお申込みください。

※日本言語聴覚士協会会員の方は、生涯学習の2講座履修ならびに研修会参加によるポイント習得が可能です。生涯学習受講記録票の持参をお願いします。

※会場で翌日開催の言語聴覚士九州地区合同学術集会への会場案内も行います。

[問合せ先]

大分県言語聴覚士会 教育研修部 岩崎玲子
所属：明和記念病院 リハビリテーション部
TEL : 097-573-1000 FAX : 097-573-1163
E-mail:meiwahp@estate.ocn.ne.jp

**[第5回言語聴覚士会九州地区合同学術集会
(in 大分)]**

[会期] 2006年10月29日(日) 10:00-16:30(受付9:15-)

[会場] iichico 総合文化センター 音の泉ホール
(大分市高砂町2番33号オアシスひろば21内)

[参加費] 事前登録一般 4,000円 事前登録学生
2,000円 当日一般 4,500円 当日学生 2,500円

[内容]

基調講演題『これから言語聴覚士に求められるもの』

日本言語聴覚士協会 会長 深浦順一 先生
教育講演 仮題『失語症のリハビリテーション』
日本言語聴覚士協会 前会長 藤田郁代 先生
一般演題、その他

[懇親会] 大分全日空ホテル オアシスタワー5F
孔雀の間 11:45-13:15(大分市高砂町2番48号)
会費2,000円

[問合せ先]

第5回言語聴覚士会九州地区合同学術集会事務局
※湯布院厚生年金病院 リハビリテーション室
言語訓練室 森

〒879-5103 大分県由布市湯布院町川南252

TEL: 0977-84-3171 FAX: 0977-84-3969

メール: yufureha@wonder.ocn.ne.jp

※大分リハビリテーション専門学校

言語聴覚士科 平岡

〒870-8658 大分県大分市千代町2-4-4

TEL: 097-535-0201 FAX: 097-535-0966

メール: h-geng@po.d-b.ne.jp

**[ヘルシー・アスリート・プログラム(HAP)
ボランティア募集]**

[ボランティア募集内容]

ヘルシー・アスリート・プログラム ヘルシーヒアリング(聴力検査)

①言語聴覚士 30名 ②健診補助学生 10名

[実施日時・会場]

2日間 2006年11月3日(金) KK ウイング
4日(土) アクアドーム熊本

※いずれも午前9時~午後5時(予定)

[参加費] 無料。ただし交通費自己負担。

[申し込み先・問合せ先]

◎熊本県言語聴覚士会 事業部 宮本恵美

〒861-5513 熊本市鶴羽田町685

菊南病院 言語聴覚療法科

TEL 096-344-1711 Fax 096-344-1726

◎スペシャルオリンピックス日本 東京事務所
ヘルシーアスリートプログラム担当

E-mail sensui@son.or.jp

〒105-000 東京都港区虎ノ門2-6-7

虎ノ門二丁目アネックス7F

TEL 03-3501-4680 Fax 03-3501-4690

[第7回日本クリニカルパス学会学術集会]

[日時] 平成18年11月17日(金) 18日(土)

[会場] 熊本県立劇場及び熊本学園大学

～クリニカルパスのさらなる進化を目指して～

[事前登録費] 8,000円

[後援] 熊本県言語聴覚士会

[学会ホームページ]

<http://www.jscp.gr.jp/meeting/index.html>

編集後記

今号は書評が学校の宣伝っぽくなってしまいましたが、県士会員の皆様にとっても切実な問題だと思いましたので敢えて意見を述べさせていただきました。

(信)

yamaguch@seishoukan.ac.jp